

NO.5 台車の基礎

期 間：2日間

関東NO.5

開催日 2026年 8月19日(水)～2026年 8月20日(木)

募集期間 2026年 4月 1日(水)～2026年 8月 5日(水)

関西NO.5

2026年 7月15日(水)～2026年 7月16日(木)

2026年 4月 1日(水)～2026年 7月 1日(水)

台車の役割と基本的な機能及び台車のメンテナンスに関する知識を習得する講座

受講対象者 鉄道事業者などの車両メンテナンス担当者及びメーカー等の中堅者の方

目 標 台車の役割と基本的な機能及び台車メンテナンスを行う上で必要な専門知識を幅広く習得することを目指します。

目 的 台車の役割と基本的な機能、台車各部の構造と機能、台車各部の検修作業のポイント、検修作業における脱線や乗り心地等に与える影響の注意点、台車・輪軸の特徴的な試験設備等を解説し、台車のメンテナンスを行う上で必要な知識を講義します。

講 師 東日本旅客鉄道株式会社 大宮総合車両センター 品質管理科 副長 西澤 修一 氏
東日本旅客鉄道株式会社 大宮総合車両センター 品質管理科 主任 細井 裕志 氏
東日本旅客鉄道株式会社 大宮総合車両センター 品質管理科 アドバイザー 加藤 義保 氏
東海旅客鉄道株式会社 総合技術本部 技術開発部 車両走行技術チーム
台車開発グループ グループリーダー 石山 淳一 氏
一部調整中

講義内容 1. 台車の役割と基本的な機能

台車に関わる名称及び用語

台車の役割

台枠

2. 台車各部の構造と機能

台枠

輪軸

軸箱支持装置、車体支持装置

駆動装置、牽引装置

ブレーキ装置

3. 台車各部の検修作業のポイント

台枠

輪軸

軸箱支持装置、車体支持装置

駆動装置、牽引装置

ブレーキ装置

4. 検修作業の脱線や乗り心地等に与える影響

5. 台車・輪軸の特徴的な試験設備

磁粉探傷

渦流探傷

エアマイクロ

油分析装置

ピニオン軸受の抜取装置

受講料 ・正会員：41,000円（税込）（個人正会員、及び団体正会員の会社・団体に所属する社員）
（資料代「台車・輪軸（保守のポイント）」3,630円（税込）を含む）
・非会員：49,000円（税込）
（資料代「台車・輪軸（保守のポイント）」3,630円（税込）を含む）
・リモート受講の場合も対面受講の場合と同額となります。

その他 ・本講座は、関東、関西の区別なく受講が可能です。
・リモート受講を併用するので、遠隔地からの受講も可能です。

2026年度車両技術講座 受講申込書

講座名 関東NO.5 台車の基礎

標題について、下記の通り受講の申し込みをします。

受講者氏名	年齢	会社名・勤務先・職名	電話	E-mail アドレス	受講形式	リモート受講の可否	団体会員	個人会員	記事
		【宛先(受講者本人と異なる場合)】 【資料送付先住所】							
		【宛先(受講者本人と異なる場合)】 【資料送付先住所】							
		【宛先(受講者本人と異なる場合)】 【資料送付先住所】							
(記載例) ヤマカワ 山川 太郎	◇	〇〇(株) 運用車両△△部 〇〇課 主任	××-×××-××××	****-****@***.**.jp	リモート	○	○	○	

- ①講座は関東、関西で開催となりますが、関東、関西の区別なく受講が可能です。受講申込書は関東、関西を間違わないようにご使用ください。
- ②講座は対面またはリモートによる受講となりますので、どちらで受講されるかを「受講形式」欄にご記入下さい。
- ③リモートの場合、Zoomとなります。
- ④万一对面による講座が開催できない状況下ではリモートでのみの開催も検討します。その場合はZoomとなりますが、リモートになった場合でも受講される場合には「リモート受講の可否」欄に○を記入願います。
- ⑤リモート受講を希望される方には、事前に講義資料をお送りしますので、資料送付先住所を忘れずにご記入ください。なお、資料送付先が受講者ご本人以外の場合は、その宛先と住所をご記入ください。
- ⑥「団体会員」、「個人会員」欄は該当する場合、○を記入願います。

責任者ご氏名	会社名・お役職名	電話	E-mail アドレス	記事

2026年度車両技術講座 受講申込書

講座名 関西NO.5 台車の基礎

標題について、下記の通り受講の申し込みをします。

受講者氏名	年齢	会社名・勤務先・職名	電話	E-mail アドレス	受講形式	リモート受講の可否	団体会員	個人会員	記事
		【宛先(受講者本人と異なる場合)】 【資料送付先住所】							
		【宛先(受講者本人と異なる場合)】 【資料送付先住所】							
		【宛先(受講者本人と異なる場合)】 【資料送付先住所】							
(記載例) ヤマカワ 山川 太郎	◇	〇〇(株) 運用車両△△部 〇〇課 主任	××-×××-××××	****-****@***.**.jp	リモート	○	○	○	

- ①講座は関東、関西で開催となりますが、関東、関西の区別なく受講が可能です。受講申込書は関東、関西を間違わないようにご使用ください。
- ②講座は対面またはリモートによる受講となりますので、どちらで受講されるかを「受講形式」欄にご記入下さい。
- ③リモートの場合、Zoomとなります。
- ④万一对面による講座が開催できない状況下ではリモートでのみの開催も検討します。その場合はZoomとなりますが、リモートになった場合でも受講される場合には「リモート受講の可否」欄に○を記入願います。
- ⑤リモート受講を希望される方には、事前に講義資料をお送りしますので、資料送付先住所を忘れずにご記入ください。なお、資料送付先が受講者ご本人以外の場合は、その宛先と住所をご記入ください。
- ⑥「団体会員」、「個人会員」欄は該当する場合、○を記入願います。

責任者ご氏名	会社名・お役職名	電話	E-mail アドレス	記事